

1. 科目名（単位数）	障害者福祉論（2 単位）	3. 科目番号	SSMP2101 SNMP2301 SCMP2101 SBMP2301 PSMP2401
2. 授業担当教員	加藤 洋子		
4. 授業形態	講義・ディスカッション	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	特になし。]		
7. 講義概要	障害者を取り巻く福祉制度・政策は、日々、劇的な変化を遂げている。そして、障害者のニーズも複雑・多様化している。実践現場では、これに適切に対処することができるソーシャルワーカーが求められている。本講義においては、激しく移り変わる障害福祉制度や情勢、さらには障害者の実情について学び、ソーシャルワーカーが主体的に問題解決に取り組むことができるように知識を身につけていく。 また、ソーシャルワーカーは多面的な視点を必要とすることから、新聞記事等、資料も用いて障害者問題のみならず老人・貧困等と、さまざまな課題を取り上げ、福祉問題について共に考えていく。 そして、障害者福祉論は、社会福祉士国家試験の『障害者福祉』に位置する科目となる。同国家試験の合格を目指すためには、『障害者福祉』が得点源となるような受験対策が必要となる。そのため、本講義においては、過去の国家試験を分析・検討し、それに沿った内容も講義する。		
8. 学習目標	障害者福祉論が終了した時点で、具体的に以下の点を理解し、説明できるようにする。 1) 障害概念と特性 2) 障害者福祉の理念 3) 障害者福祉の歴史 4) 障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題 5) 障害者に対する法制度 6) 障害者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割 7) 障害者と家族等に対する支援の実態		
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	毎回ごとの授業で指示された課題・キーワードをまとめ所感を記して授業で学んだことをA4一枚程度にまとめて毎回の授業開始前に提出すること。年譜を各自作成すること。本授業は、アクティブラーニング方式でグループワークにより事前事後学習、発表を行い「学ぶ」「気づく」の主体的学習姿勢・グループでの役割認識を重視する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 『最新・社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 8 障害者福祉』中央法規 2021 参考図書等については随時提示する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 7つの学習目標を理解することが出来たか。 ○評定の方法 ①中間試験 30% ②期末試験 50% ③平常点（授業への積極的参加度及びレポート）20% 尚、本学の規定に定められている 3/4 以上の出席が確認できない場合には単位の修得は認めない。		
12. 受講生へのメッセージ	障害のある人への理解を深めることは障害のある人の人権を擁護する態度の始まりである。障害者への差別や偏見・人権と思想は歴史的に現代までに大きく変遷してきた。WHO（世界保健機構）が目指す「障害と開発に関する国連旗艦報告書 2024」は、SDG s 持続可能な包摂的な社会を築くとしている。様々な環境のなかで、様々な社会的背景をもち、さまざまな機能障害を持ちながらも安心安全で、主体的な人生を送り、自己実現を可能とするような共生社会が求められている。生活・医療・社会・経済的課題をミクロ（個人へのサービス）やメゾ（地域・期間等）・マクロ（法律や行政サービス）域の社会資源の情報や資源の活用・連携しながら環境と当事者に起きている生活困難に介入する点では、ソーシャルワークの基本姿勢である。事例検討など当事者の声に傾聴し支援活動ができるようにアセスメント力や実践力をつけていく。障害児・者の発達支援や社会参加の重要性についても理解を深めソーシャルワーカーに必要な知識・技術・価値を習得してほしいと考えます。グループ学習は、精神障害・身体障害・知的障害・発達障害・難病チームで学習していく。障害者に関わる法制度・内容・社会背景・社会の偏見・差別問題なども含めて歴史年表を自身で作成し障害者への理解を深めてほしい。		
13. オフィスアワー	授業で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 尊厳について考える。	事前学習	障害児者に関わる事案の新聞記事を読んでおくこと
		事後学習	尊厳について考察しレポートすること
第2回	障害者の定義と特性 身体障害・知的障害・発達障害・精神障害の定義と分類、根拠となる法律を学ぶ	事前学習	障害者の定義と特性 1-1 障害の概念 (1) 障害のモデル (2) 障害の概念の多義性 (3) 障害の法的概念
		事後学習	授業で学んだ専門用語の意味について学習ノートにまとめておくこと。
第3回	I 国際生活機能分類と障害の社会モデル CIDH から ICF へ 医学モデルから社会モデルへ	事前学習	国際生活機能分類（ICF）と障害の社会モデルについてまとめておくこと。
		事後学習	各グループでまとめたものを整理する
第4回	障害者福祉の理念	事前学習	ノーマライゼーションを論じた上で各リハ

	障害観の変遷と福祉の理念		ビリテーションについてまとめよ
		事後学習	各グループでまとめたものを整理する
第 5 回	障害者福祉の歴史 1 日本の障害法の歴史	事前学習	排除と隔離の時代（明治期から第2次世界大戦敗戦〈1945 年〉直後頃まで）を調べ年譜を創る
		事後学習	排除と隔離の時代（明治期から第2次世界大戦敗戦〈1945 年〉直後頃まで）をまとめる
第 6 回	1-2 保護と更生の時代	事前学習	（身体障害者福祉法制定〈1949 年〉頃から国際障害者年〈1981 年〉頃まで）を調べ年譜を創る
		事後学習	身体障害者福祉法制定〈1949 年〉頃から国際障害者年〈1981 年〉頃まで）をまとめる
第 7 回	1-3 自立支援と参加の時代	事前学習	（国際障害者年〈1981 年〉頃から障害者自立支援法制定〈2005 年〉頃まで）を調べ年譜を創る
		事後学習	（国際障害者年〈1981 年〉頃から障害者自立支援法制定〈2005 年〉頃まで）を調べまとめる
第 8 回	1-4 共生と包摂の時代	事前学習	（障害者自立支援法制定〈2005 年〉頃から現在まで）の年譜を創る
		事後学習	（障害者自立支援法制定〈2005 年〉頃から現在まで）をまとめる
第 9 回	障害者に対する法制度 2 日本の障害者法の構造と現状	事前学習	2-1 障害者の定義 (1) 制度ごとで異なる障害者の定義 (2) 障害者の主要な定義 (3) 障害者手帳・等級とその汎用 (4) 障害者の定義の未来像 各グループで分担してまとめてくる
		事後学習	各グループでまとめたものを整理する
第 1 0 回	2-2 障害者差別禁止と合理的配慮 2-3 雇用をめぐる障害者施策	事前学習	1) 障害者に対する 2 つの就労施策 (2) 一般就労移行支援 (3) 就労系障害福祉サービス
		事後学習	各グループでまとめたものを整理する
第 1 1 回	障害者の生活実態とこれを取り巻く社会環境と課題 2-4 障害者の所得保障の現状 -5 障害者福祉サービス支給方式	事前学習	(1) 自立生活と工賃・賃金の低さ (2) 障害者に対する所得保障制度：障害年金と生活保護
		事後学習	各グループでまとめたものを整理する
第 1 2 回	6 障害者と家族支援・専門職の役割 行政・労働・教育・医療・保健等との多職種連携の実際 関係する専門職の役割と個別支援計画	事前学習	(1) 障害者に対する福祉サービス支給方法の変遷 (2) 障害者のニーズを反映したサービスに関してまとめる
		事後学習	各グループでまとめたものを整理する
第 1 3 回	7 障害者と家族への支援の実際 ソーシャルワーカーの役割 各種事例	事前学習	各グループでまとめたものを発表資料を作成する
		事後学習	各グループでまとめたものを整理する
第 1 4 回	7－2 障害者と家族への支援の実際 ソーシャルワーカーの役割 各種事例	事前学習	各グループでまとめたものを発表資料を作成する
		事後学習	各グループでまとめたものを整理する
第 1 5 回	15. まとめ 事例をとおして生活困難とソーシャルワークの実際を発表する（グループ発表）	事前学習	各グループでまとめたものを発表資料を作成する
		事後学習	全体で学習評価する。
期末試験			